私の調書・銅版画　　作田富幸



何を描いているのですかの問いに「自画像です」というと一様に人々は納得してくれる。私としたらどちらかといえば「自我像」のほうがぴったりする。つまり私のネタは常に自我という“ドブ”の中にある。中学のころからそいつはずっと深いところでうずいて腐っている。考えすぎる病気といえばそうかもしれないが、恋愛だって一種の病気みたいなもの。小説の分野には私小説というジャンル分けがあるらしい。ならば私が行うのは「私小説版画」とでも言えようか。“ドブから華”にする一連の行為を銅版画が救ってくれるからだ。

略歴
1984　東京造形大学版画専攻卒業
2006－07　文化庁海外留学制度１年派遣研修員（オランダ）
2009-11　東京芸術大学非常勤講師
2019－22　東京造形大学非常勤講師
2014－24　女子美術大学非常勤講師　2017－24　同　大学院非常勤講師　2022－24　同　特別招聘教授
2018－21　日本大学芸術学部大学院非常勤講師　2022－現在　日本大学客員教授
日本版画協会会員　文房堂アートスクール講師　版画工房インタリオ主宰
アーチスト イン レジデンス、
1995からベルギー、スエーデン、カナダ、オーストラリアなどの版画工房で滞在制作、ワークショップ開催
個展
2015　Bunkamura ギャラリー（東京）
2018　エカテリンブルグ美術館（ロシア）　他
受賞
2005　第6回高知国際版画トリエンナーレ（大賞）
2013　第17回バルナ国際版画ビエンナーレ、ブルガリア（1st Prize）
2014　第16回中華民国国際版画・素描ビエンナーレ、台湾（銀賞）　他
作品収蔵
黒部市美術館、 ユーモアと風刺の美術館（ブルガリア）、国立台湾現代美術館（台湾）、 Jordan Schnizer Museum of Art（アメリカ）、 中国版画博物館、 エカテリンブルグ美術館（ロシア）　他



崩 メゾチント 30x41cm 2002

